

# 風松報校

～ つながる ～

令和2年 2月 7日  
由利本荘市立新山小学校  
学校報 第47号  
発行：校長

## 新1年生体験入学・頑張ったね1年生



熱心にお話を聞いてくださいました。

1月31日（金）に入学説明会を行いました。保護者の皆様が説明会に参加している間、年長さんたちは1年生の各教室で体験入学（なかよし会）を行いました。年長児と交流するなかよし会は、生活科の学習で行っている活動です。この日は、「僕たちがお兄さん、お姉さん。」と言わんばかりに、1年生が一生懸命年長さんたちをお世話してくれました。そのほのぼのとした様子は、1年生のこれまでの



「すごろく」コーナー



「なまえ・ぬりえ」コーナー

の確かな成長を感じるものでした。会の最後には、自分が書いたお手紙をペアになっている年長さんに手渡して、内容を読んであげました。このような活動をしながら、2年生に進級する心を育てています。

2月に入ってから、上の学年に習って、1年生もあいさつ運動を始められています。（下の写真）



「おりがみ」コーナー



2月から始めた「あいさつ運動」

## ゆり支援学校との交流（7組）

1月28日（火）に7組の子どもたちが、ゆり支援学校の2・3年生の子どもたちと交流学習を行いました。これは、16日（木）に続いて2回目の交流です。黒板にはプレゼントのメダルを飾り、リハーサルも行って、交流会の準備をしていました。会の中では、好きな食べ物の自己紹介をしたり、磁石でくっつく虫とりゲームを行ったりして、



前の時間もダンスの練習



「虫とりゲーム」でワイワイ楽しく！

とても楽しそうでした。みんなが、相手のことを考え、お互いが楽しめるように行動する優しい子どもたちです。心が温かくなりました。

# 裸まいりを学ぶ(3年生)

社会の学習で昔の本荘のことを学んでいる3年生。地域の伝統行事である裸まいりについて、緑町の佐々木厚さんを招いて、お話を伺いました。裸まいりの歴史やかけ声である「ジョヤサ」の意味など、詳しく教えていただきました。また、子どもたちの質問にも丁寧にお答えいただきました。年々参加者が減ってきているというお話に、菊地先生が子どもたちに「参加者を増やすためにどうすればよいですか。」と質問を投げかけたところ、以下のような意見が出てきました。子どもたちの考えになるほどと思った次第です。佐々木さんも感心してくださいました。参加してみたいという子どもも結構たくさんいましたので、来年ぜひ挑戦してもらいたいと思いました。



○どうすれば参加者が増えると思うか？

- ・女子も入れるとよいかも。
- ・他にも参加を呼びかける。
- ・裸まいりのよさを伝える。
- ・テレビにCMを出す。
- ・有名芸能人に参加してもらおう。
- ・参加者にごほうびをあげる。

## 子どもたちの活躍・おめでとう！

【第65回青少年読書感想文秋田県コンクール】

秋田県教育長賞 2年 ○○○○さん  
題名「体中の心でつたえよう」  
優良賞 5年 ○○○○さん  
題名「わたしの二つの心」



○新山バレーボールスポーツ少年団

【第26回全県新人小学生バレーボール選抜大会本荘由利地区予選大会】優 勝



※ 写真右の立派な盾は、バレーボール選手である西田有志さん(20歳)が所属するチーム「ジェイテクトSTINGS」の運営会社の株式会社ジェイテクトIT開発センター秋田から贈られたものだそうです。西田選手は高校生選手としてVプレミアリーグで活躍し、昨年はワールドカップでベストサーバー賞を受賞しています。皆さんも夢をでっかくもって、自分の力を磨きましょう。